

平成15年度「福井元気宣言」推進に係る政策合意の取組結果

(平成16年3月末現在)

「福井元気宣言」の4つのビジョンを着実に実現していくため、平成15年6月に知事と合意をした「政策合意」の取組結果について、次のとおり報告します。

平成16年3月

政策幹兼総務部長 飯 島 義 雄

I 総務部の主な取組みについて

- ・ 全庁的な施策の取りまとめや予算、人事、組織の編成を通じ、「福井元気宣言」実現のための基盤づくりを行いました。
- ・ 知事のリーダーシップのもと、平成15年6月に大胆な機構改革を実施するとともに、政策議論や予算編成等を通じて成果主義に基づいた事業の選択と集中などに取り組みました。
- ・ さらに、「元気宣言」の財源確保を図りながら、仕事の進め方改革や行政に経営という視点を導入する「行財政構造改革プログラム」を策定し、「政策推進マネジメントシステム」を示しました。
- ・ 「座ぶとん集会」および「福井女性会議」の開催、「予算編成過程への県民参加」の全国初の実施など、明朗でオープンな県政を推進しました。
- ・ 若手職員の豊かな発想を生かすための「県庁内ベンチャー事業」を実施するなど、職員の創造力や意欲を引き出す取組みを推進しました。
- ・ 「経済社会活性化戦略会議」の提言に基づき、「挑戦（チャレンジ）ふくいー福井県経済社会活性化プランー」を策定し、平成16年度当初予算へ反映しました。

II 「政策合意」の取組項目に係る結果について

- ・ 別紙「平成15年度 取組項目に係る結果報告（総務部）」のとおりに

III 総括コメント

- ・ 「元気宣言」に基づき策定した「挑戦（チャレンジ）ふくいー福井県経済社会活性化プランー」や「行財政構造改革プログラム」などの各種プランについて、予算、人事、組織などその具体化に取り組みました。
- ・ 今後は、これらの取組みを基礎に、主権者であり顧客である県民に「元気宣言」の具体的な成果を示し、また、それを全国に向けて情報発信することにより、県民がふるさとに誇りを持てる「プライド福井の創造」に取り組みます。
- ・ さらに、様々な改革をより実効性のあるものとするため、職員の意識改革や仕事の進め方改革を推進する必要があると認識しています。

平成15年度 取組項目に係る結果報告 総務部)

(平成16年3月末現在)

取組結果の区分] ◎ 実施し、所期の成果をあげました。 ○ 実施し、現在、取組みを継続中です。

－ 未着手です。

役職	政策幹兼総務部長	氏名	飯 島 義 雄
取 組 項 目		取 組 結 果	
1 行財政構造改革の断行 (1) 政策評価システムの推進と改善に取り組むとともに、財政構造改革会議を設置し政策と予算の連携を強化するなど、政策効果を重視し、経営の視点を取り入れた新たな行政システム「福井県政策推進マネジメントシステム」を平成15年度中に構築します。		区 分	◎
		〔成果等〕 1 「政策推進マネジメントシステム」の導入を公表(16年2月) (1)分析 (Assessment) の重要性に着目した本県独自のマネジメントサイクル (APDSサイクル) を導入 (2)県政の主要施策目標を50の「福井元気指標」として公表 〔16年度の課題〕 システム推進の定着とそれに向けた職員の意識改革	
(2) 補助金の見直しや外郭団体等の整理統合等に着手するとともに、「財政構造改革プログラム」(仮称)を策定し、成果主義に基づく事務事業の大胆なスクラップに取り組めます。		区 分	◎
		〔成果等〕 1 「行財政構造改革プログラム」の策定(16年2月) 成果主義に基づく事務事業の選択と集中 15年度事務事業評価において、241事業の見直しを行い、16年度当初予算で一般財源28億円を「福井元気宣言」のビジョン実現のための財源として確保 〔16年度の課題〕 プログラムの中で明らかにした外郭団体等の統廃合などの着実な実行と職員の意識改革	
(3) 主要プロジェクトの再検討を行うとともに、新規の大規模施設整備を原則凍結します。		区 分	○
		〔成果等〕 1 新規の大規模施設整備の原則凍結等の取組方針を決定 新規の大規模施設(総事業費10億円以上)については、次の条件を満たす重要施設に限り実施 ・ 広く県民に利用される施設であること ・ 民間が供給・代替できる施設でないこと ・ 市町村が管理運営を行うなどランニングコストの縮減が図られること。 ＊維持管理を地元自治体が負担することとなった「こども家族館(仮称)」については、上記の条件が確認できたので、16年度から事業実施	

平成15年度 取組項目に係る結果報告 総務部)

(平成16年3月末現在)

取組結果の区分] ◎ 実施し、所期の成果をあげました。 ○ 実施し、現在、取組みを継続中です。

－ 未着手です。

役職	政策幹兼総務部長	氏名	飯 島 義 雄
取 組 項 目		取 組 結 果	
(4) 事務事業の改善とコスト意識の徹底などにより一般行政部門の職員数3,359人(H15.4.1現在)の削減を推進するとともに、超過勤務縮減の目標管理の徹底などにより人件費の抑制に取り組めます。		区 分	○
		〔成果等〕 1 一般行政部門の職員数の削減 15年4月から19年4月までの4年間で、5%(168人)を削減する計画 15年4月1日 3,359人→16年4月1日 3,260人 (99人減少) 2 超過勤務縮減による人件費の抑制 ・超過勤務縮減に向けた取組み ①超過勤務目標時間の設定および進行管理の徹底 ②「超過勤務縮減に関する取組方針」の策定 ③勤務時間の割振り特例制度の導入 等 ・超過勤務手当執行額 16年度当初予算において約4千万円縮減	
(5) 県有財産のあり方を根本から見直し未活用の県有財産の売却・貸付けを促進するとともに、使用料・手数料等の見直しを行うなど歳入の確保に取り組めます。また、県有施設の効果的・効率的な管理運営体制を平成15年度中に取りまとめます。		区 分	○
		〔成果等〕 1 未活用の県有財産の売却や使用料・手数料等の見直しによる歳入確保 未活用県有地の売却(約1億8千8百万円)や旧知事車などの公用車の売却(約1千1百万円)、使用料・手数料等の適正化による歳入確保(約2億3千2百万円) 2 県有施設の効果的・効率的な管理運営 (1)開館日と開館時間の拡充 ・国民の祝日の開館(8施設) ・夏休み期間中の毎日開館(7施設) ・開館時間の延長(1施設) (2)フレンドリーバスの運行 15年8月30日から運行開始 〔16年度の課題〕 「行財政構造改革プログラム」の中で明らかにしたサンドーム福井など利用率の低い施設の設置目的の検討や県庁舎を含む県有施設の県民利用の一層の促進	

平成15年度 取組項目に係る結果報告 総務部)

(平成16年3月末現在)

取組結果の区分] ◎ 実施し、所期の成果をあげました。 ○ 実施し、現在、取組みを継続中です。

－ 未着手です。

役職	政策幹兼総務部長	氏名	飯 島 義 雄
取 組 項 目		取 組 結 果	
(6) P F I (民間による公共施設の整備、運営)の導入やアウトソーシング(管理の外部委託など)の推進など民間活力の導入と行政サービスの供給手段の多様化に取り組みます。		区 分	○
		〔成果等〕 1 PFIの導入 15年度 PF事業実施に向けて対象事業を検討 16年度 県立病院駐車場の建設・運営について導入可能性調査を実施 (可能な場合PF事業者を募集、選定) 2 アウトソーシングなど行政サービスの供給手段の多様化 (1)健康福祉センターの海水浴場水質調査業務、県立病院の医事業務など13事業のアウトソーシングを実施 (2)NPOや地域コミュニティと連携した行政サービスの供給手段の多様化に向けた取組みを実施	
2 県民に身近な県政運営 (1)政策形成過程からの情報公開・県民参加のあり方について平成15年度中に方向を決定します。		区 分	◎
		〔成果等〕 1 予算編成過程への県民参加を実施 「政策形成過程からの県民参加」として、全国で初めて予算編成過程への県民参加に取り組み、県民の意見を予算に反映し、結果を公開 意見件数 15年6月補正 53件 15年9月補正 22件 16年当初予算 148件 2 県政マーケティング制度を創設 政策の立案段階において県民の考え方を把握する「県政マーケティング制度」を創設	
(2)実際に現場で働いている県民の意見や女性の視点を県政に反映させるため、6月から「座ぶとん集会」を県内各地で実施するとともに、8月を目処に公募により「福井女性会議」を設置します。		区 分	◎
		〔成果等〕 1 「座ぶとん集会」の開催 60回の開催予定→開催61回、参加者延べ934人 (15年6月～16年3月末) 2 「福井女性会議」の開催 ・県内在住の20歳以上の女性を対象に委員を公募し、60名に委嘱(15年9月) ・県内3ブロック(福井・坂井・奥越、丹南、嶺南)で各3回の会議を開催 ・各ブロックで県政に関する提言を取りまとめ(16年1月)	

平成15年度 取組項目に係る結果報告 総務部)

(平成16年3月末現在)

取組結果の区分] ◎ 実施し、所期の成果をあげました。 ○ 実施し、現在、取組みを継続中です。
－ 未着手です。

役職	政策幹兼総務部長	氏名	飯 島 義 雄
取 組 項 目		取 組 結 果	
(3) パブリックコメント制度の有効活用について、平成15年度中に方向を決定します。		区 分	○
		[成果等] 1 「県民パブリックコメント制度」の見直し 募集方法や募集期間などの要件を見直し、制度の有効活用を促進	
3 福井元気宣言の実現 (1) 「経済社会活性化戦略会議」を早期に設置し、平成15年中に戦略構想を策定するとともに、実施可能なものから速やかに着手します。		区 分	◎
		[成果等] 1 「平成15年度福井県経済社会活性化戦略会議」の設置 15年 7月 県内外の民間人等11人により発足 15年12月 知事に提言 2 「挑戦(チャレンジ) ふくいー福井県経済社会活性化プランー」の策定(15年12月) 3 プランの実行 ・産業支援機関への目標管理手法の導入や構造改革特別区域制度の活用など、戦略会議の議論過程で出てきた提案は、できるものから直ちに実行 ・16年度当初予算においては、このプランの実現を最優先として、対応すべきものはすべて予算化 [16年度の課題] 急激に変化する経済社会情勢を踏まえた戦略会議からの新たな提言の具体化	
(2) 平成18年度までのビジネススクール開設に向け、平成15年度中に方向性を決定し、開設準備に着手します。		区 分	◎
		[成果等] 1 ビジネススクール基本構想の策定 15年9月に設置したビジネススクール開設準備会の意見をもとに、大学において基本構想を策定(16年3月)し、開設準備に着手 [16年度以降のスケジュール] ・16年 4月 プレビジネススクールを開講 ・16年10月 ビジネススクール(短期課程)を開講 ・18年度 大学院ビジネススクールを開設	

平成15年度 取組項目に係る結果報告 総務部)

(平成16年3月末現在)

取組結果の区分】◎ 実施し、所期の成果をあげました。 ○ 実施し、現在、取組みを継続中です。

－ 未着手です。

役職	政策幹兼総務部長	氏名	飯 島 義 雄
取 組 項 目		取 組 結 果	
(3) 県民益を明確にした国際施策を全庁的、総合的に行うため、平成15年度中に県海外事務所機能の再構築と上海事務所の充実強化の方向性を決定します。		区 分	◎
		〔成果等〕 1 東アジアの海外事務所機能の強化 成長著しい東アジアマーケット開拓のため、上海や香港事務所の機能を強化 ・上海事務所：ビジネスコーディネーターを設置 ・香港事務所：ジェットロとの共同事務所から単独事務所化 ・ニューヨークおよびミラノ事務所：15年度末をもって廃止 2 国際化施策の推進サポート 16年度から、海外勤務経験者や語学力の高い職員でチームを編成し、国際政策に関心を持つ職員の意欲を県政に反映	
(4) 電源立地地域対策交付金の創設などについて国、関係市町村との連携を密にし、新交付金制度へのスムーズな移行を図るとともに、電源三法交付金制度の用途拡充と一般財源化について国への働きかけを強化します。		区 分	○
		〔成果等〕 1 新交付金制度の積極的な活用 ・15年10月から用途の拡大した新交付金制度を、知的障害者グループホームへの支援など福祉、教育分野に有効活用 ・制度の趣旨、内容について関係市町村に周知徹底 2 電源三法交付金・補助金の地方における一般財源化等について、重要要望その他あらゆる機会を捉えて国に強く要望	
(5) 原子力・エネルギー関連技術の産学官共同研究による効果的な地域産業への技術移転と支援体制等について平成15年度中に検討するとともに、エネルギー関連企業や研究機関等の誘致に取り組めます。		区 分	○
		〔成果等〕 1 原子力・エネルギーに関する研究開発拠点化の推進について国や電力事業者へ協力を要請（15年11月、16年3月） 2 産学官一体となった推進体制の整備に向け、総務部に企画幹（エネルギー研究開発拠点）を設置 3 財団法人若狭湾エネルギー研究センターの改革「経営」と「研究」を分離し、体制強化を実施 〔16年度の課題〕 ・エネルギー研究開発拠点化に関する計画策定委員会を早期に立ち上げ、具体的計画を検討 ・関連科学技術の普及など財団法人若狭湾エネルギー研究センターによる地域貢献の一層の推進	

平成15年度 取組項目に係る結果報告 総務部)

(平成16年3月末現在)

取組結果の区分] ◎ 実施し、所期の成果をあげました。 ○ 実施し、現在、取組みを継続中です。

－ 未着手です。

役職	政策幹兼総務部長	氏名	飯 島 義 雄
取 組 項 目		取 組 結 果	
(6) 県市町村合併支援プランに基づく人的・財政的支援を行うことにより、市町村合併の自主的取組みを支援するとともに、市町村と連携して地域コミュニティの機能強化に取り組めます。		区 分	○
		〔成果等〕 1 法定合併協議会構成市町村を合併重点支援地域に指定し、「福井県市町村合併支援プラン」に基づく全庁的な支援を実施 ・ 芦原町・金津町の合併により「あわら市」誕生(16年3月1日) ・ 5法定合併協議会(13市町村により構成)で合併に向け協議中 2 地域コミュニティに関しては、市町村関係職員と研究会を開催し、そのあり方について検討 〔16年度の課題〕 首長間の信頼関係、考え方の相違から合併が停滞するケースがあったが、合併特例法の期限内にできるだけ多くの市町村が合併するよう支援や助言を強化	
		区 分	◎
(7) 県内における新エネルギーの導入を促進するため、県自らが率先して県有施設に太陽光発電設備を設置するとともに、県民への普及啓発を図ります。		〔成果等〕 1 県有施設への太陽光発電設備の設置 県庁舎(30 kW)、大野高校、武生高校(各10 kW) 2 土木部の太陽光発電等住宅設備設置促進事業と併せて太陽光発電の普及啓発を実施	
		区 分	○
(8) 福井駅付近連続立体交差事業等の進捗に合わせ、手寄地区における県民プラザの整備やJ R北陸線高架下の利活用、福井駅西口中央地区開発などの推進に福井市や民間とともに取り組めます。		〔成果等〕 1 J R北陸線高架下の利活用や福井駅西口中央地区・東口地区再開発のあり方について、福井市等関係機関と協議 〔16年度の課題〕 福井市手寄地区の保留床購入については、県議会からの指摘を踏まえ、早急に福井市等と協議し、方向性を決定	

平成15年度 取組項目に係る結果報告 総務部)

(平成16年3月末現在)

取組結果の区分】◎ 実施し、所期の成果をあげました。 ○ 実施し、現在、取組みを継続中です。

－ 未着手です。

役職	政策幹兼総務部長	氏名	飯 島 義 雄
取 組 項 目		取 組 結 果	
(9) 全県IT化を推進するため、福井情報スーパーハイウェイの活用やケーブルテレビ網の整備などに取り組みます。		区 分	○
		〔成果等〕 1 ケーブルテレビ網の整備 (1) CATV施設整備に対する補助事業の実施 三国町、芦原町・金津町(現あわら市)、坂井町、清水町においてCATVインターネットのサービスエリアが拡大 (2) ブロードバンド加入世帯の拡大 世帯普及率 14年12月 19.7%→16年1月 33.7% 2 福井情報スーパーハイウェイの運用開始(15年4月) 行政利用のほか、約35の企業等が医療、教育、インターネット、放送、企業内ネットワーク等に活用	
4 職員の創造力と意欲を引き出す取組み (1) 若手職員による庁内のベンチャー的提案の喚起と事業化をサポートするシステムを早期に構築し、平成15年度内に提案の具体化をめざします。		区 分	◎
		〔成果等〕 1 「県庁内ベンチャー」事業の実施と政策への反映 ・15年 6月 若手職員による2研究グループを発足 「構造改革特区」研究グループ 「エコ・グリーンツーリズム推進」研究グループ ・15年 9月 知事に提言発表 ・16年 3月 第4次認定申請の4件がすべて認定 ・「地域ブランド創造活動推進事業」など、16年度当初予算に反映 2 「グッドジョブ賞」の創設 成果主義の視点から職場で具体的に成果を上げた職員や技術開発に成果を上げた職員を表彰 〔16年度の課題〕 職員の意欲を高め、自ら進んで仕事に取り組む意識の啓発とやる気の育成	

平成15年度 取組項目に係る結果報告 総務部)

(平成16年3月末現在)

取組結果の区分】◎ 実施し、所期の成果をあげました。 ○ 実施し、現在、取組みを継続中です。
－ 未着手です。

役職	政策幹兼総務部長	氏名	飯 島 義 雄
取 組 項 目		取 組 結 果	
(2) 地方分権新時代を担う政策立案能力や民間の経営感覚を備えた職員の育成、効率的・効果的な研修を行うため、平成15年度中に自治研修所の体制を見直します。		区 分	◎
		〔成果等〕	
		1 自治研修所の研修内容の全面的な見直し 16年度から、成果主義、顧客主義などニュー・パブリック・マネジメントの視点に立った研修や県民の体験を直接聴く研修を導入するなど、新しい職員研修を計画的に実施 (新しい研修) ・ 県民を講師とする研修 ・ 社会福祉施設体験研修 ・ 企業・行政交流研修 など 〔16年度の課題〕 現場主義など職員の意識改革や政策推進マネジメントシステムの定着に向けた研修を実施	

平成15年度に取り組んだ主な行財政構造改革

■ リーダーシップ

○政策推進マネジメントシステムの導入

- ・16年2月に「政策推進マネジメントシステム」の導入を公表
分析（Assessment）の重要性に着目した本県独自のマネジメントサイクル（APDSサイクル）を導入
県政の主要施策目標を50の「福井元気指標」として公表

○元気宣言実現のための機構改革

- ・15年6月に「福井元気宣言」を実現するため、企画部門の強化や県民参加推進のための体制整備など組織・機構改革を実施

○政策合意の締結

- ・15年度から、知事と各部局長が年度ごとに取り組むべき事項について「政策合意」を締結

○新規の大規模施設整備の原則凍結

- ・取組方針を決定
次の条件を満たす重要施設に限り実施
 - ・広く県民に利用される施設であること
 - ・民間が供給・代替できる施設でないこと
 - ・市町村が管理運営を行うなどランニングコストの縮減が図られること
- ※維持管理を地元自治体が負担することとなった「こども家族館（仮称）」については、上記の条件が確認できたので、16年度から事業実施

○公共事業等の選択と集中

- ・16年度当初予算において、25件の県単独事業の1件審査を試行

○事務事業の見直し

- ・15年度事務事業評価により、241事業を見直し、一般財源で約28億円を確保

○県外事務所・海外事務所の機能強化

- ・県外事務所機能を強化
東京・大阪事務所は、これまでの行政連絡中心の機能から企業誘致や地域ブランドの情報発信機能に重点を移行
名古屋事務所を廃止し、その業務は本庁で対応
- ・東アジアの海外事務所機能を強化
成長著しい東アジアマーケット開拓のため、上海事務所、香港事務所の機能を強化
ニューヨークおよびミラノ事務所は15年度末をもって廃止

○職員定数の適正な管理

- ・ 15年4月から19年4月までの4年間で一般行政部門の職員数(3,359人)の5%(168人)を削減する計画
- ・ 16年4月現在で2.9%(99人)減少

○給与の適正化等

- ・ 給与等の改定により、給与を1.09%、期末勤勉手当の支給月数を0.25か月分引下げ
- ・ 退職手当の支給水準を国に準じて概ね3%引下げ(16年度さらに3%引下げ予定)
- ・ 超過勤務手当執行額を16年度当初予算において約4千万円縮減
- ・ 管理職手当の支給率を見直し、15年6月から支給額を約10%引下げ
- ・ 15年8月から、知事をはじめ特別職の給料月額を10%減額

○外郭団体等への再就職の見直し

- ・ 退職年齢の見直し
65歳に達した年度末から63歳に達した年度末に見直し
- ・ 給料月額の上限の引下げと退職手当の廃止
部長級は30万円、次長級は25万円、課長級は20万円

○知事公用車等の売却

- ・ 知事公用車等の黒塗り公用車(4台)を売却

○県庁内ベンチャー事業の実施

- ・ 15年6月に、若手職員による2つの研究グループを発足、9月に知事に提言発表
「構造改革特区」研究グループ
「エコ・グリーンツーリズム推進」研究グループ

■フレンドシップ

○県民参加の推進

- ・ 座ぶとん集会、女性会議の開催
座ぶとん集会については、15年6月から16年3月までに61回開催し、延べ934人が参加
福井女性会議については、15年9月に公募により60名を委員に委嘱し、16年1月、県政に対する提言をとりまとめ

○予算編成過程への県民参加の実施

- ・ 15年9月補正予算から全国初の取組みとして予算編成過程への県民参加に取り組み、県民の意見を予算に反映し、結果を公開
- | | | |
|------|---------|------|
| 意見件数 | 15年6月補正 | 53件 |
| | 15年9月補正 | 22件 |
| | 16年当初予算 | 148件 |

○県有施設の活用促進

- ・開館日と開館時間の拡充
国民の祝日開館 新たに8施設実施
夏休み期間中の毎日開館 新たに7施設実施
開館時間の延長 新たに1施設実施
- ・フレンドリーバスの運行
15年8月から、県立図書館や生活学習館と、福井駅とを結ぶ「フレンドリーバス」を運行
15年8月から、文化施設の嶺南地域からの送迎バス「フレンドリーアート号」を催事に合わせて運行
- ・県有施設整備への県民参加を実施
新県立病院について16年2月に「モニター見学会」を実施、県民約310人が参加
- ・来庁者が利用しやすいよう県庁本庁舎受付を改良
県庁本庁舎の受付を入口正面に出すなど、来庁者が利用しやすいよう改良するとともに、「知事への伝言箱」を設置

○県庁本庁舎の間仕切り壁の撤去

- ・関係各課の連携強化や業務の効率化を図るため、本庁各部において業務に関連のある課間の間仕切り壁を撤去

■パートナーシップ

○市町村との対等、協働な関係の構築

- ・合併特例法の期限内にできるだけ多くの市町村が合併するよう支援や助言を強化
現在、5法定協議会（13市町村により構成）で合併に向け協議中
- ・市町村への権限移譲
15年度、新たに2事務を市町村に移譲

○行政サービスの供給手段の多様化

- ・NPOとの協働
15年度に「NPO（民間非営利団体）との協働指針」を策定
県のホームページの改善事業など6事業でNPO協働モデル事業を実施
- ・地域コミュニティとの協働
「ふくいマイタウン・パトロール隊」など県民の自主的な地域活動との協働を推進
- ・民間アウトソーシングの推進
新たに13件23人分の業務の民間アウトソーシングを実施